

世界を旅するあなたへ……

市原美架

千葉県・二二・フリーター

あなたに会ったのは、一九九八年三月のことでしたね。

知っていますか？ 私はあなたに会いたがために、ここから一〇〇〇km南下した島に旅に出たことを……。

あなたに会ったのは荒れる海の中、優雅に泳いでいるあなたの姿を見た時は、思わず涙が出て止まりませんでした。ただうれしくて……。そしてあなたと一緒に泳げることができるなんて、あのひとときの間、私はすごく幸せにあふれていたの。あの吸い込まれそうなひとみ、今でも忘れることが出来ない私。このはてしなく広い地球の中であなたに会えて、きつと奇跡に近いくらいなの。

今は、どこにいるのかもさっぱりわからない。あなたは、この地球のどこかで、自由に仲間たちと暮らしているのでしょうかね。私も私なりに一生懸命生きているわ。今度あなたに会えるのはいつかしら？

あなたは、一度泳いだ人のことは、一生忘れないって聞いたよ。

それがもし本当ならば、私に会った時にわかる？ 私が忘れていても、きつとあなたは覚えていてほしいのです。

自分勝手かな？

きつと私は、これからもあなたを探しに、世界中の海を旅するでしょう。

あなたに恋してしまったあの日から、もう始まっています。

あなたの声、瞳、すべて胸に焼きつけて記憶の中に確かに刻まれているの。

イルカに恋をしてしまった少女と、いつかどこかで会えたなら、最高の泳ぎを見せてね。

私もそれまでに、あなたに近づけるように、あなたの動きについていけるように。心身ともども自分なりに練習してみるわ。それでは、See you again

ドルフィンマジックにかかった少女より